

検討会の進め方（案）

サプライチェーンにおける温室効果ガス排出量：現状と課題

国内制度の現状と課題

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度

現状：個々の事業者ベースの算定・報告・公表

課題：

- 省エネ・省CO₂製品の使用時のCO₂削減貢献度が原料調達者・製造者・販売者等の排出量評価に反映されない。
- サプライチェーンマネジメント(SCM)による排出削減行動のインセンティブが働かない。

海外等の動きとニーズの高まり

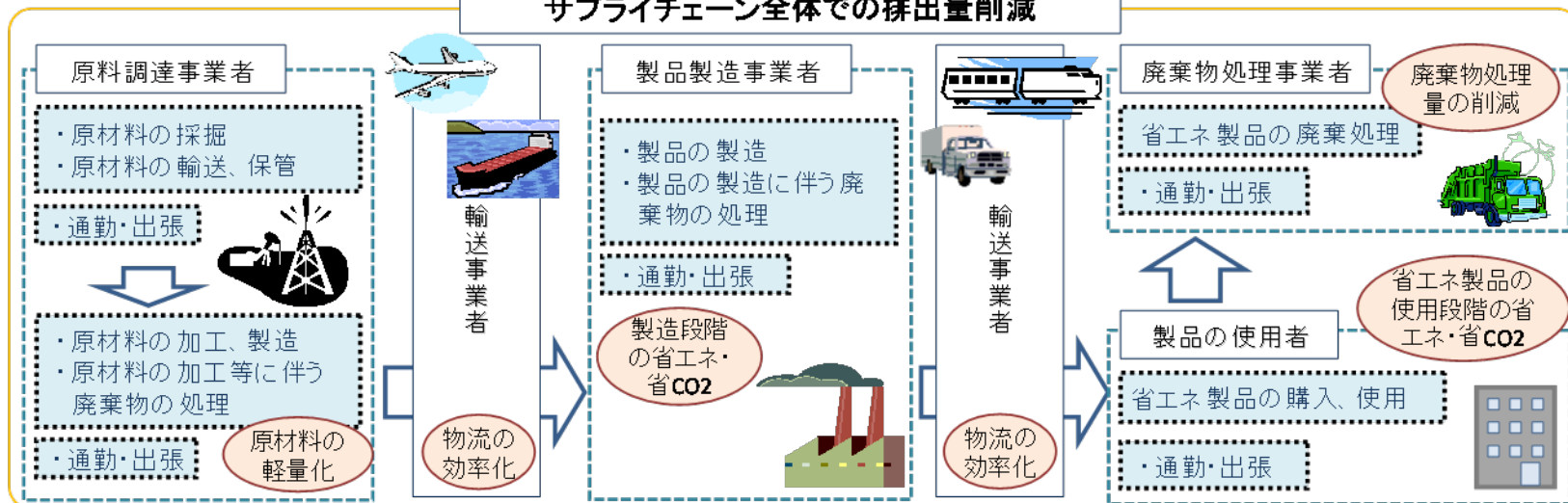
海外等の動き：

- GHGプロトコル及びISOにおけるガイドラインの検討
GHGプロトコルにおいてScope3の排出量算定報告基準、ISO14069として組織の排出量算定ガイドラインを検討
- CDP等によるScope3排出量の開示要求
CDPや公認会計士協会等において、Scope3排出量の情報開示を要求

サプライチェーンにおける排出量算定手法策定へのニーズの高まり。

- ▶ サプライチェーンにおける排出量の算定・管理の普及を図ることによる効率的な削減対策の実施の促進
- ▶ 我が国全体の温室効果ガス排出量の削減に貢献した企業が市場で適切に評価される仕組み作り

サプライチェーン全体での排出量削減

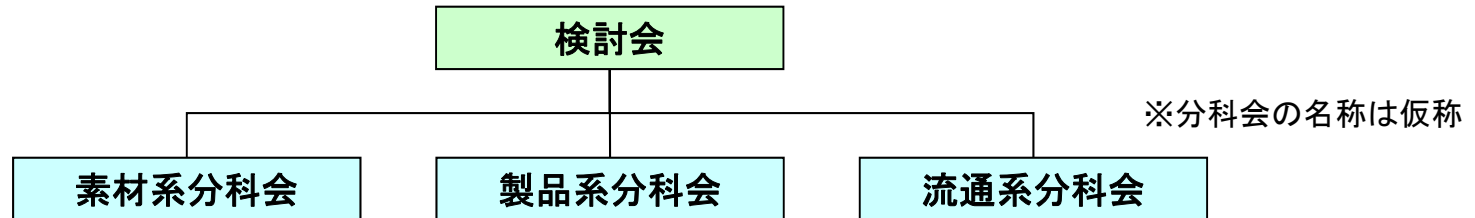


検討会の検討事項及び進め方

- 検討会：算定方法に係る骨格を検討、分科会の検討成果を取りまとめ
- 分科会：検討対象分野を3つ選定して分科会を設置し、分野ごとに具体的に検討

検討会でのアウトプットイメージ

- 算定方法ガイドライン(又は骨子)策定に向けた検討結果の取りまとめ
- 算定報告公表制度への適用可能性に関する検討結果の取りまとめ
- その他の制度等への適用可能性に関する検討結果の取りまとめ



【検討会の検討事項案】

検討会	検討事項 (案)
第1回 (7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討会の進め方 ・ サプライチェーンにおける排出量算定の海外動向等 ・ サプライチェーンにおける算定対象範囲
第2回 (7月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 算定カテゴリーごとの論点整理 ・ 各分科会での検討事項
第3回 (12月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分科会からの進捗報告 ・ 分野別の適用可能性の分析 ・ サプライチェーン排出量の報告方法 ・ 中間取りまとめ
第4回 (3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終取りまとめ

【分科会の検討事項案】

分科会	検討事項 (案)
第1回 (8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分科会での検討の進め方 ・ 算定対象とするカテゴリーの特定 ・ 上流における算定方法 ・ 関係機関・企業等へのヒアリング調査実施方法
第2回 (10月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ データの取得可能性に関する考え方の整理 ・ 算定方法の不確実性に関する考え方の整理 ・ 費用対効果分析に関する考え方の整理 ・ 下流における算定方法
第3回 (11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上下流以外における算定方法 ・ ケーススタディの実施方法
第4回 (2月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディ実施結果 ・ 活用方法の検討 (課題の整理) ・ 分科会取りまとめ